



Upward Together

2019年3月期

# 決算説明資料

2019年5月9日

UTグループ株式会社

証券コード 2146

# 目次

**1** 2019年3月期 決算概要

**2** 中期経営計画の修正

**3** 2020年3月期 事業戦略

**4** コミットメント

**5** UTグループについて

# 1. 2019年3月期 決算概要

## 当期の振り返り

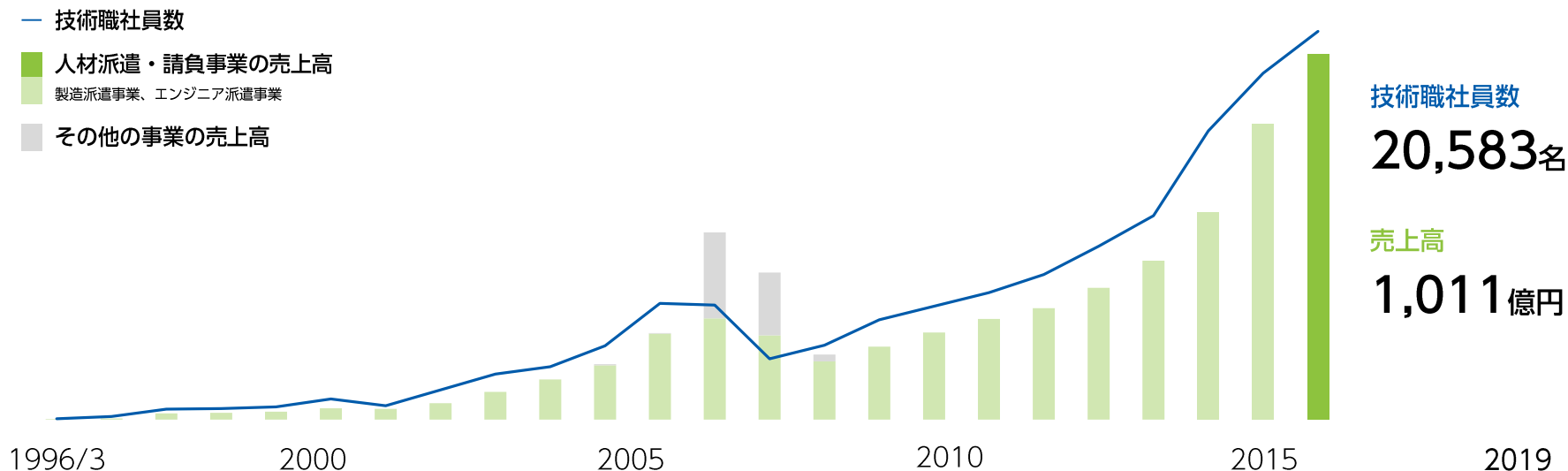
創業以来過去最高の売上高・利益を達成

技術職社員2万人を突破し製造派遣業界No.1企業に成長

キャリア形成支援の継続的取り組みが社会的な評価を獲得

厚生労働省主催「グッドキャリア企業アワード2018」で大賞を受賞

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/c\\_award\\_jirei.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/c_award_jirei.html)



# 連結業績ハイライト

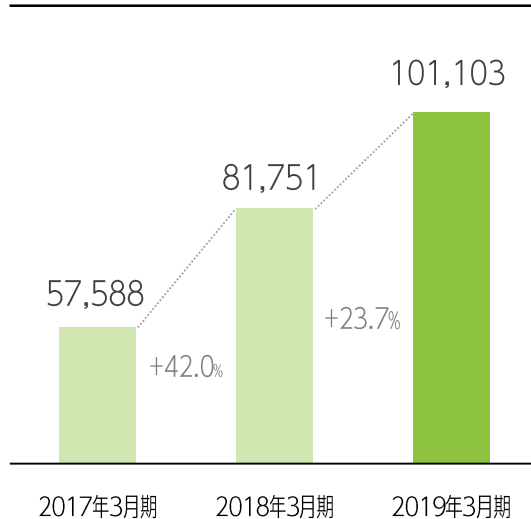
自動車業界の新規受注が増え23.7%増収を確保

高単価・大口の案件への集約を進め55.5%の営業増益

1株当たり当期純利益は35.0%増加

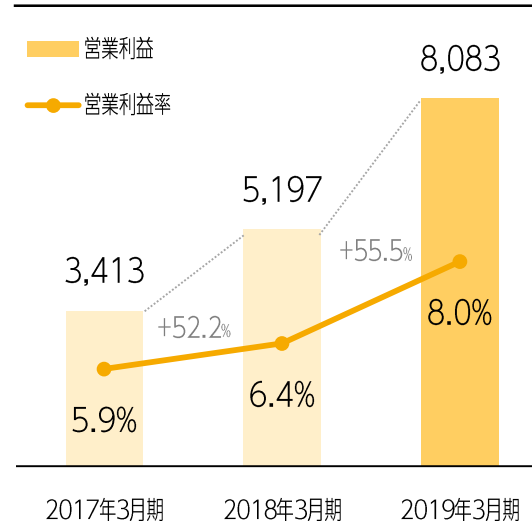
連結売上高

[百万円]



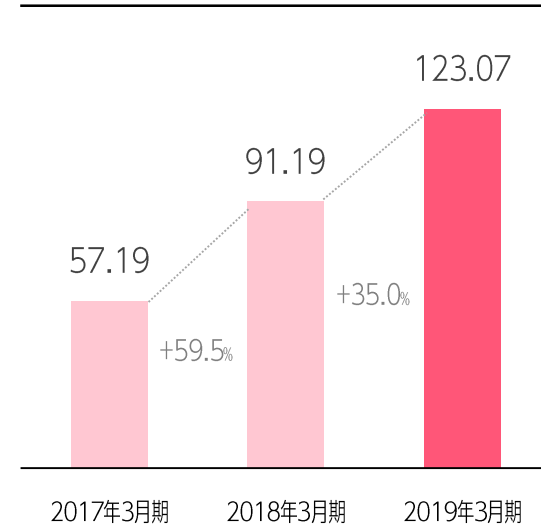
営業利益・営業利益率

[百万円]



1株当たり当期純利益

[円]



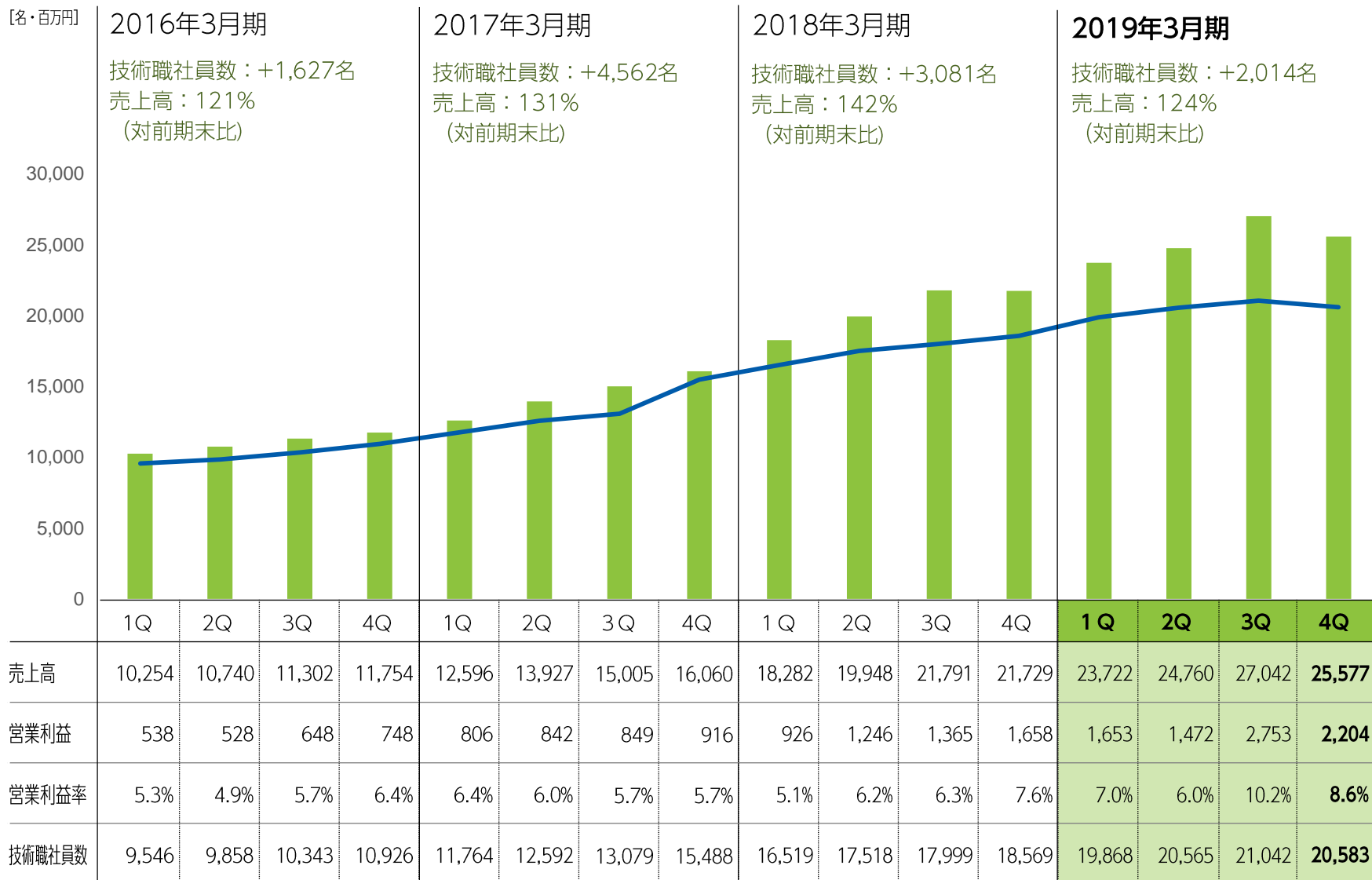
# 1. 2019年3月期 決算概要

## 連結損益計算書の概要

[百万円]

	2018年3月期		2019年3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	81,751	100.0%	101,103	100.0%	19,351	23.7%
売上総利益	16,010	19.6%	20,738	20.5%	4,728	29.5%
販売費及び一般管理費	10,813	13.2%	12,655	12.5%	1,841	17.0%
営業利益	5,197	6.4%	8,083	8.0%	2,886	55.5%
EBITDA	5,713	7.0%	8,686	8.6%	2,973	52.0%
経常利益	5,222	6.4%	8,166	8.1%	2,943	56.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,534	4.3%	4,968	4.9%	1,433	40.6%
技術職社員数 [名]	18,569	—	20,583	—	2,014	10.8%

# 四半期単位の売上高・技術職社員数の推移



# 1. 2019年3月期 決算概要

## 連結貸借対照表の概要

[百万円]

	2018年12月		2019年3月		前四半期末比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	<b>26,517</b>	83.2%	<b>28,753</b>	85.3%	<b>2,235</b>	8.4%
現金及び預金	12,732	40.0%	14,990	44.5%	2,257	17.7%
受取手形及び売掛金	12,451	39.1%	12,429	36.9%	△22	△0.2%
<b>固定資産</b>	<b>5,349</b>	16.8%	<b>4,966</b>	14.7%	<b>△382</b>	△7.2%
有形固定資産	340	1.1%	324	1.0%	△16	△4.8%
無形固定資産	2,558	8.0%	2,107	6.2%	△451	△17.6%
のれん	1,890	5.9%	1,410	4.2%	△479	△25.4%
投資その他の資産	2,450	7.7%	2,535	7.5%	84	3.5%
<b>繰延資産</b>	<b>1</b>	0.0%	<b>-</b>	-	<b>△1</b>	△100.0%
<b>総資産</b>	<b>31,869</b>	100.0%	<b>33,720</b>	100.0%	<b>1,851</b>	5.8%
<b>流動負債</b>	<b>15,476</b>	48.6%	<b>16,907</b>	50.1%	<b>1,431</b>	9.2%
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	1,959	6.2%	1,859	5.5%	△100	△5.1%
<b>固定負債</b>	<b>4,484</b>	14.1%	<b>3,815</b>	11.3%	<b>△668</b>	△14.9%
長期借入金	4,035	12.7%	3,682	10.9%	△353	△8.8%
<b>純資産</b>	<b>11,908</b>	37.4%	<b>12,996</b>	38.5%	<b>1,088</b>	9.1%
株主資本	11,811	37.1%	12,890	38.2%	1,079	9.1%
<b>負債+純資産</b>	<b>31,869</b>	100.0%	<b>33,720</b>	100.0%	<b>1,851</b>	5.8%
<b>グロスDELシオ</b>	<b>0.51</b>	-	<b>0.43</b>	-	-	-

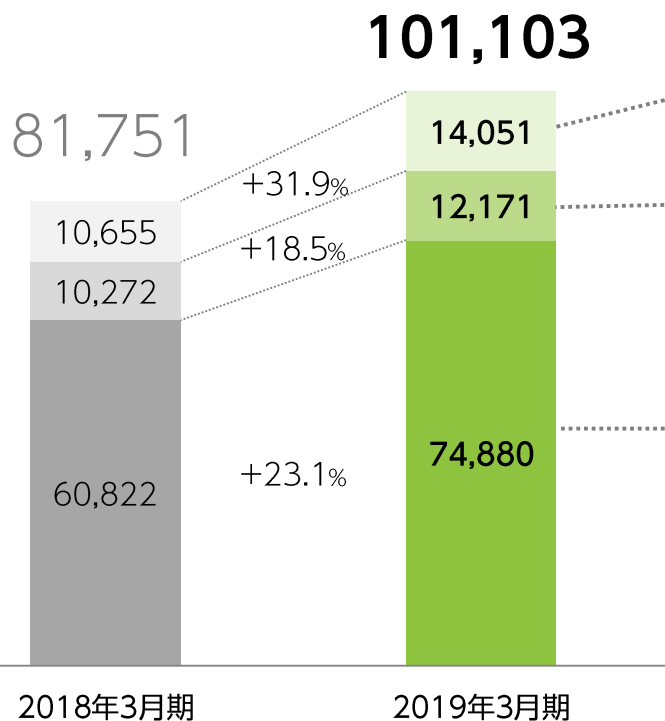


# セグメント別業績 - 売上高推移・構成比

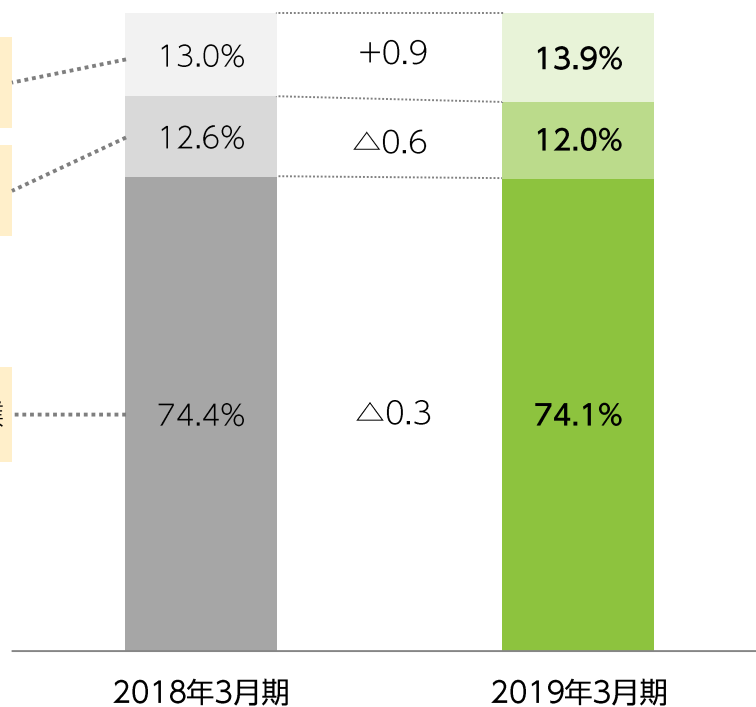
- 好調な人材需要に応え全セグメントで増収を達成
- エンジニアリング事業の構成比が増加

## 売上高

[百万円]



## 売上高構成比

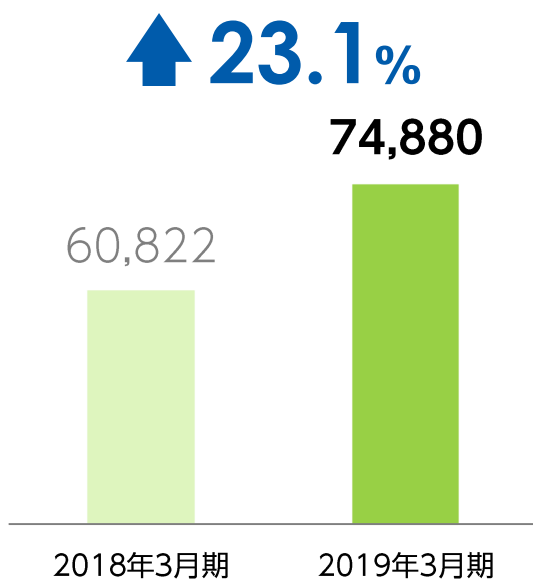


## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業

- 自動車関連分野で期間工から派遣への切替需要取り込み
- 高単価・大口案件を積極的に獲得し、収益性改善
- 技術職社員数も前期比では増員を確保

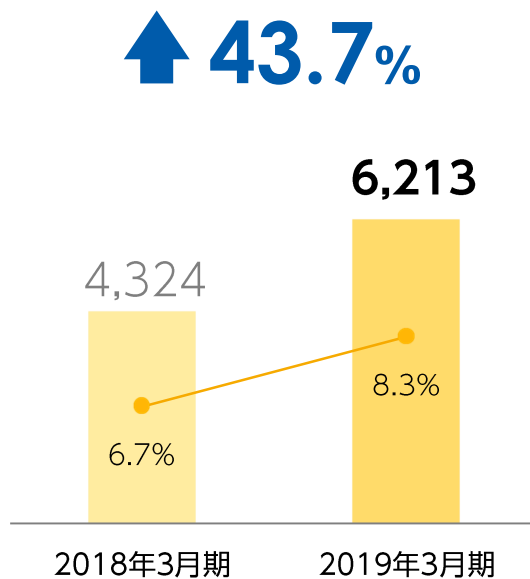
売上高

[百万円]



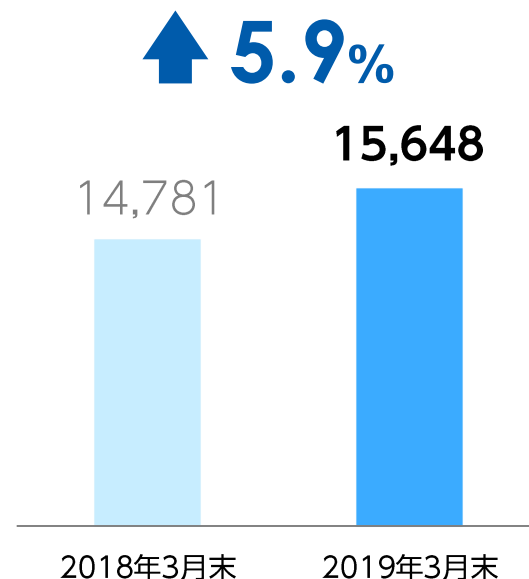
営業利益・営業利益率

[百万円]



技術職社員数

[名]

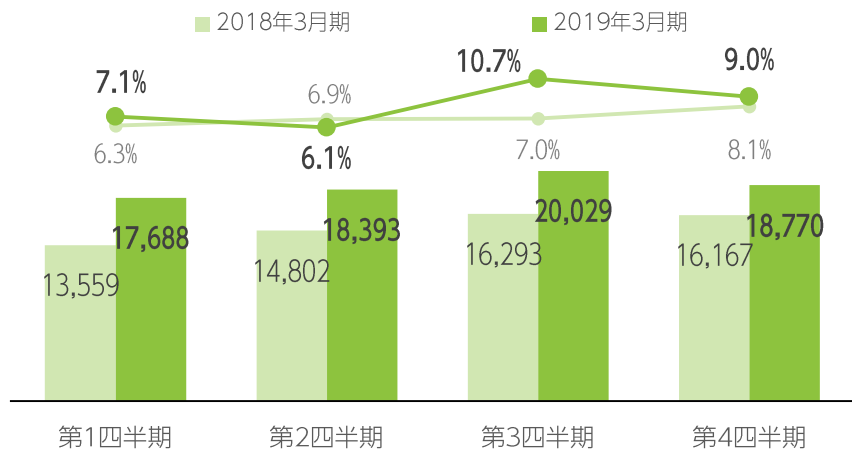


# 1. 2019年3月期 決算概要

## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業

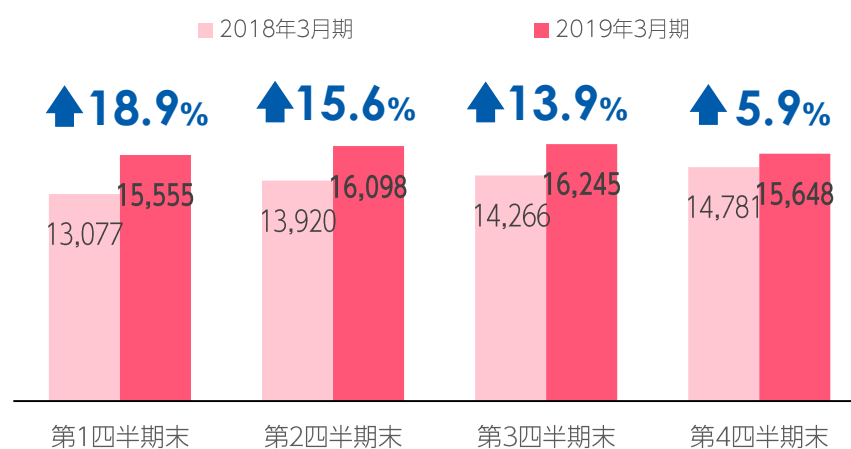
### 売上高・営業利益率

[百万円]



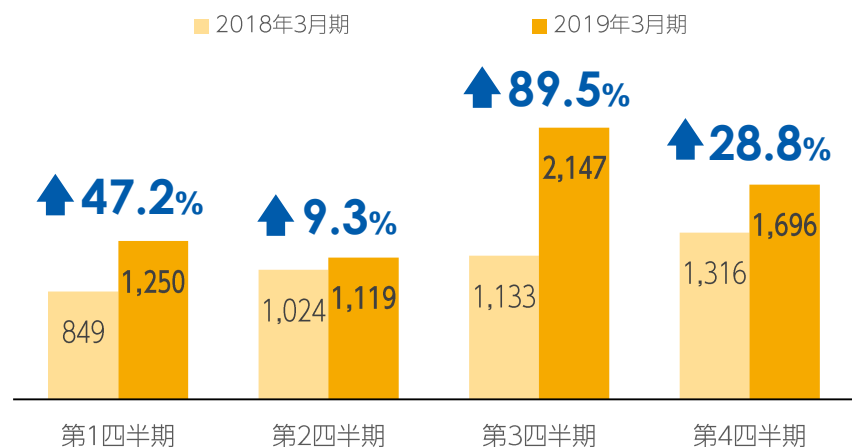
### 技術職社員数

[名]



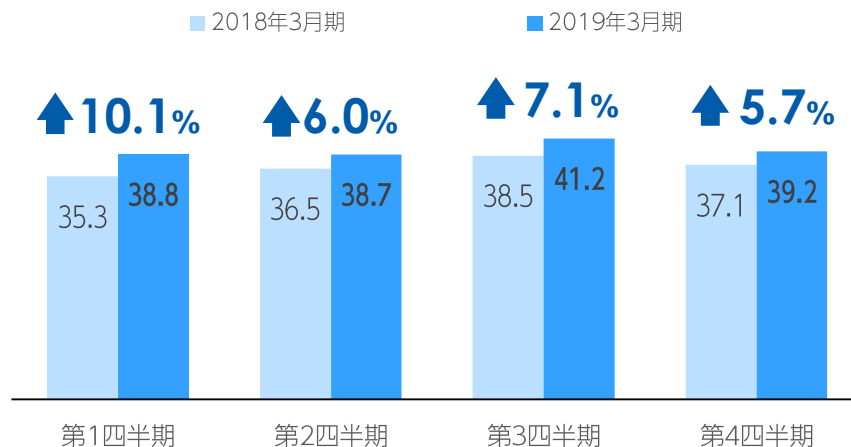
### 営業利益

[百万円]



### 一人当たりの平均月間売上高

[万円]



※四半期売上高を期中平均技術職社員数で除したのから1ヶ月の平均売上高を算出

# 1. 2019年3月期 決算概要

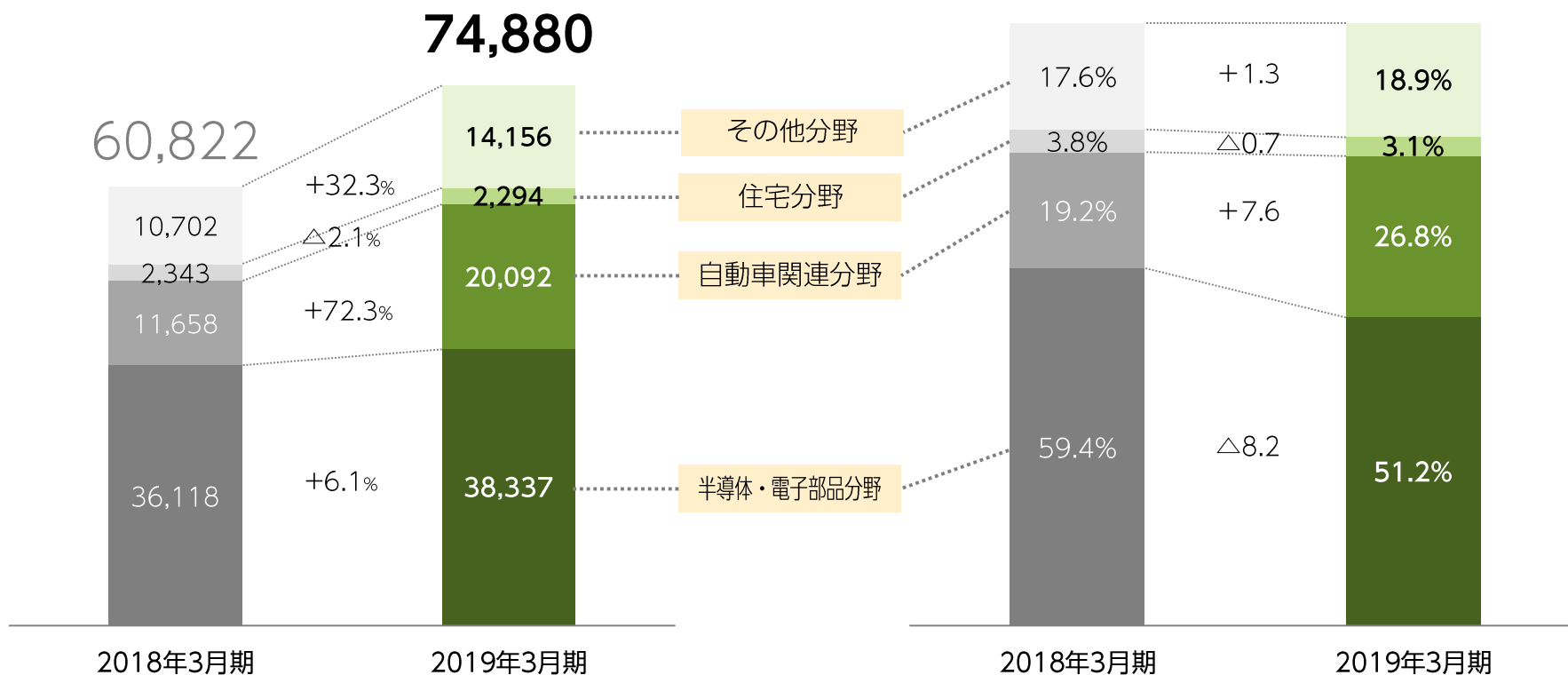
## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業 (分野別売上高)

- 期間工からの切替需要で自動車関連分野の割合が大幅に増加
- 中国経済の低迷を受け半導体・電子部品分野の増加率は縮小

売上高

[百万円]

売上高構成比

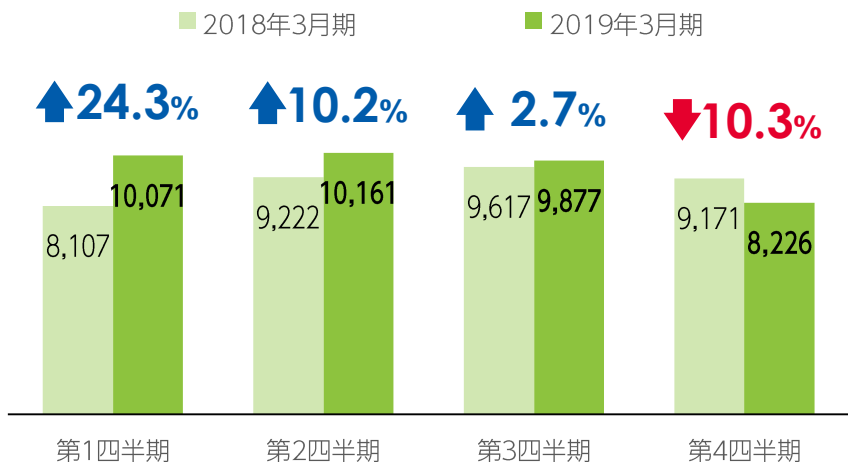


# 1. 2019年3月期 決算概要

## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業 (分野別売上高)

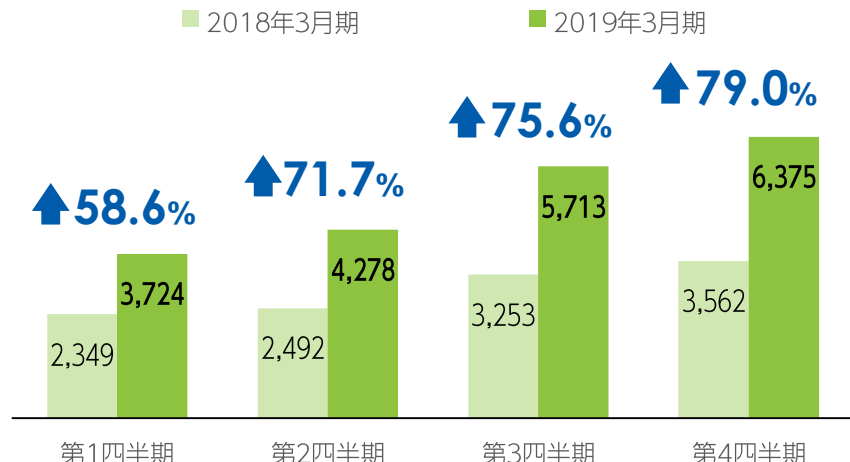
### 半導体・電子部品分野

[百万円]



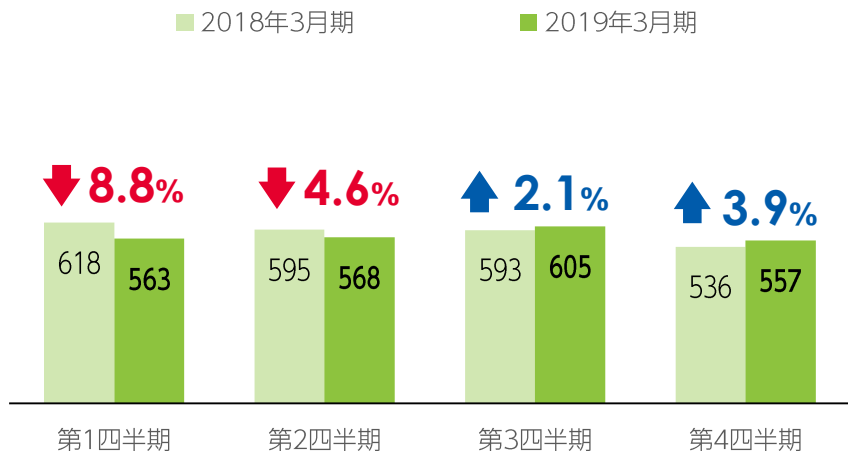
### 自動車関連分野

[百万円]



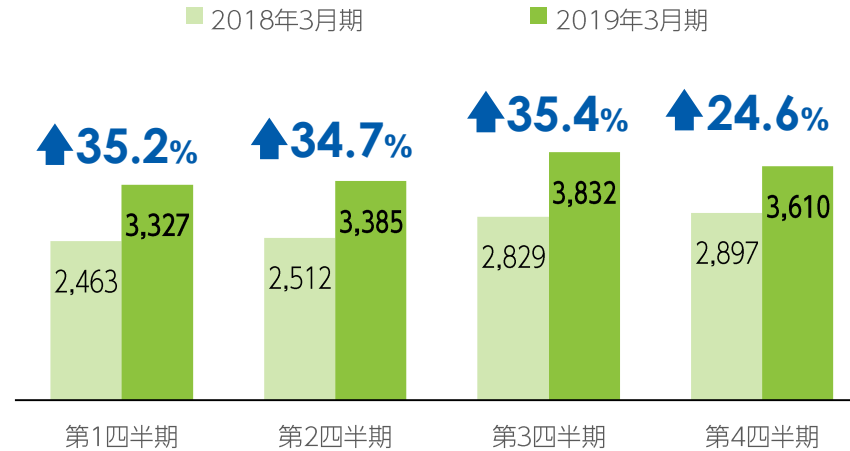
### 住宅分野

[百万円]



### その他分野

[百万円]

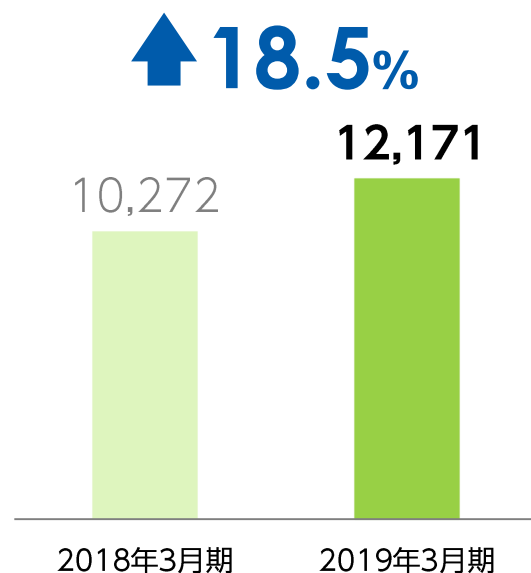


## セグメント別業績 - ソリューション事業

- 顧客企業からの転籍が進み、技術職社員数が増加
- 一部顧客での設備保全のための生産減があったものの、技術職社員数の増加による収益性の改善により営業利益率は前期水準を維持

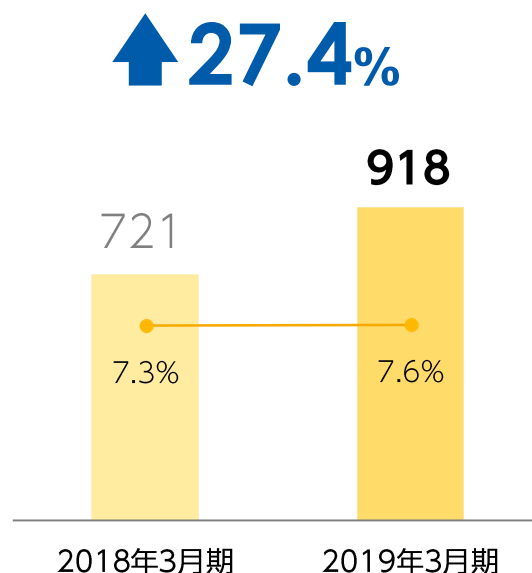
売上高

[百万円]



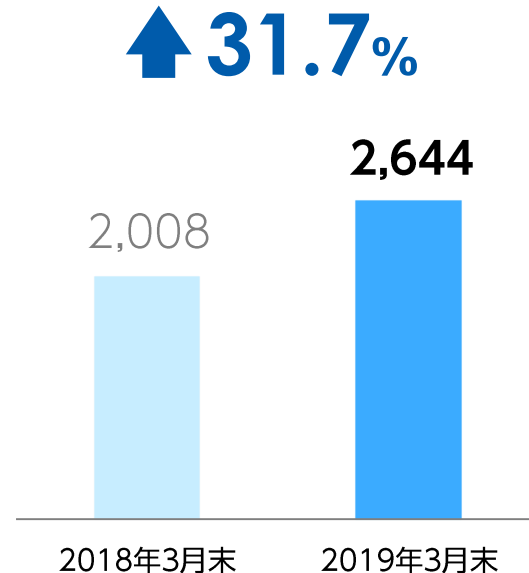
営業利益・営業利益率

[百万円]



技術職社員数

[名]

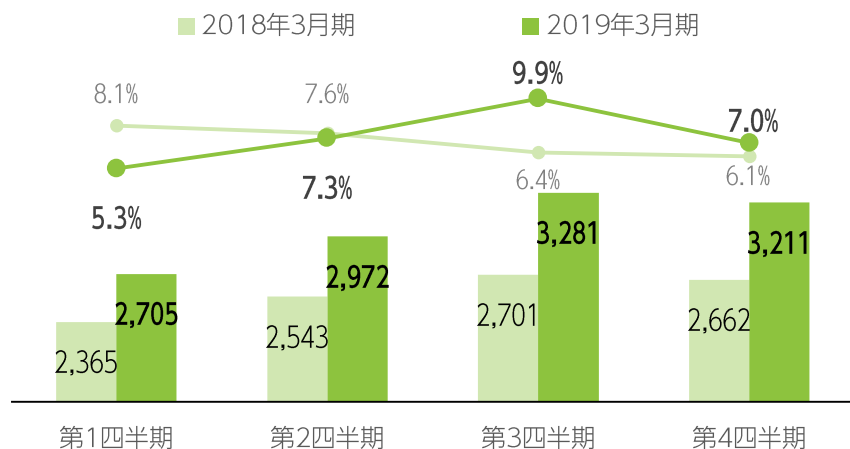


# 1. 2019年3月期 決算概要

## セグメント別業績 - ソリューション事業

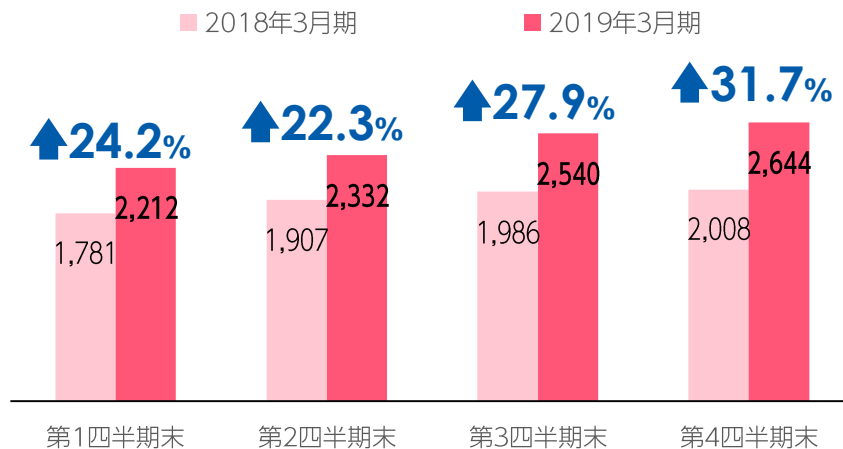
### 売上高・営業利益率

[百万円]



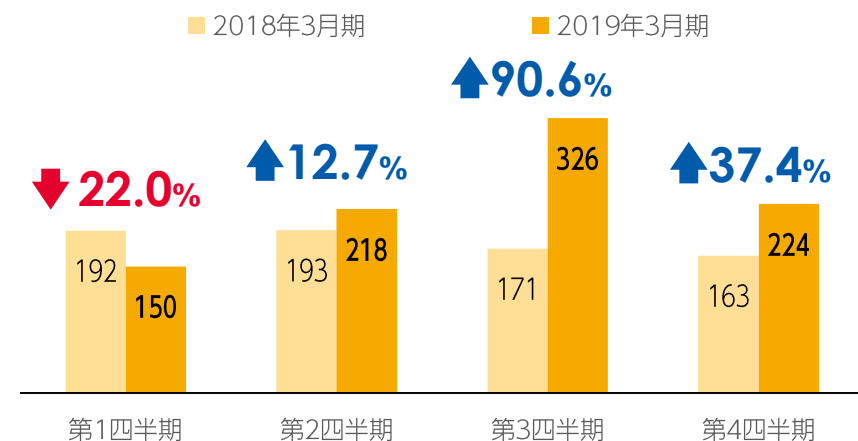
### 技術職社員数

[名]



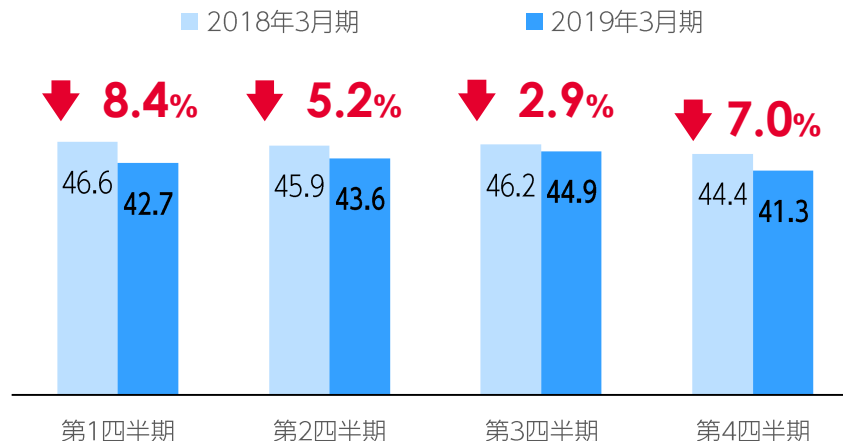
### 営業利益

[百万円]



### 一人当たりの平均月間売上高

[万円]



※四半期売上高を期中平均技術職社員数で除したのから1ヶ月の平均売上高を算出

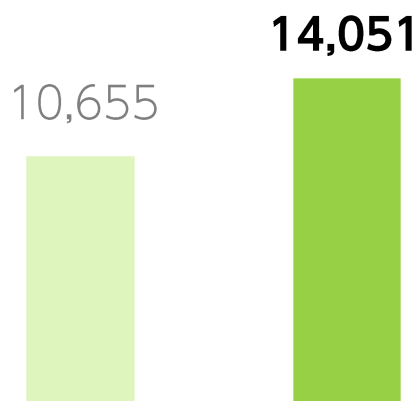
## セグメント別業績 – エンジニアリング事業

- 新卒採用、グループ内転職制度「One UT」により技術職社員数が増加
- 営業管理体制の見直し、技術職社員数の増加により収益性が大幅に改善

売上高

[百万円]

↑31.9%



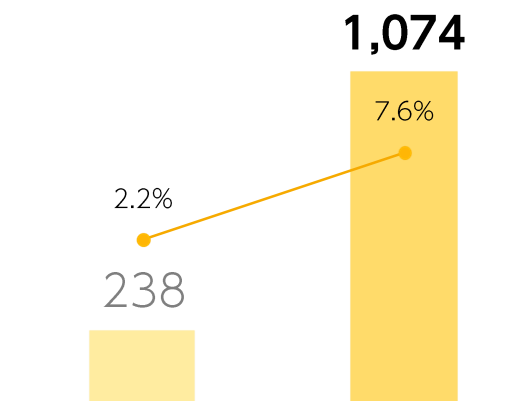
2018年3月期

2019年3月期

営業利益・営業利益率

[百万円]

↑350.3%



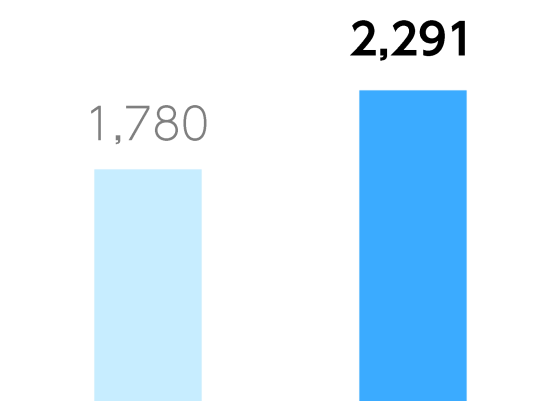
2018年3月期

2019年3月期

技術職社員数

[名]

↑28.7%



2018年3月末

2019年3月末

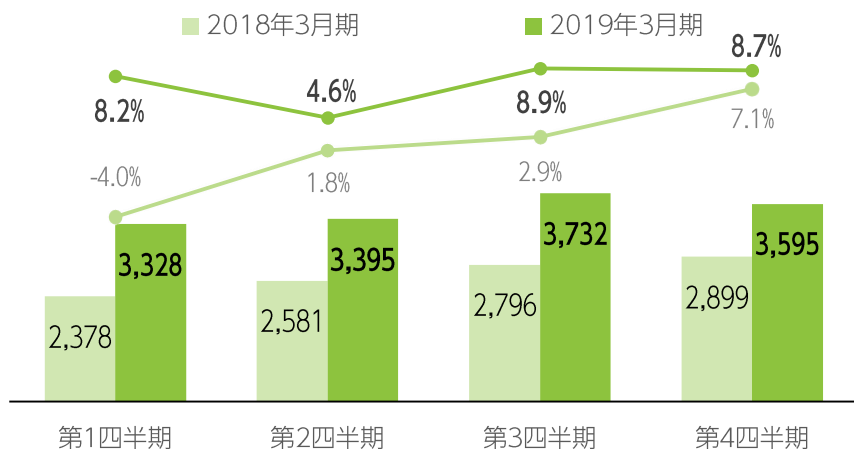


# 1. 2019年3月期 決算概要

## セグメント別業績 – エンジニアリング事業

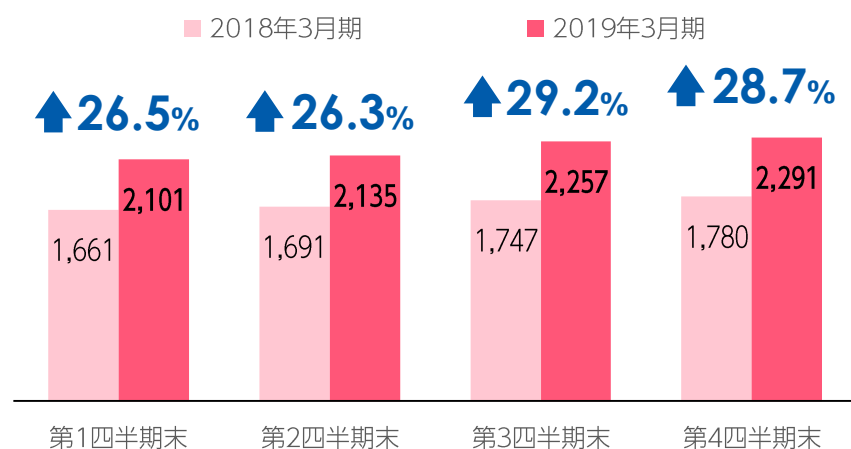
### 売上高・営業利益率

[百万円]



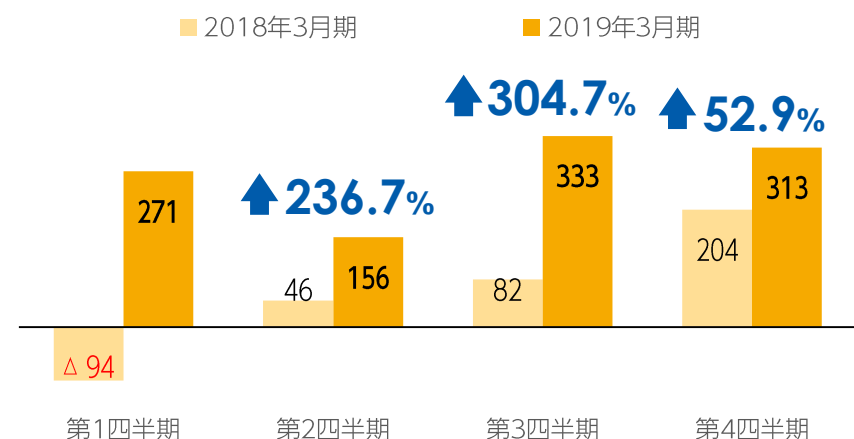
### 技術職社員数

[名]



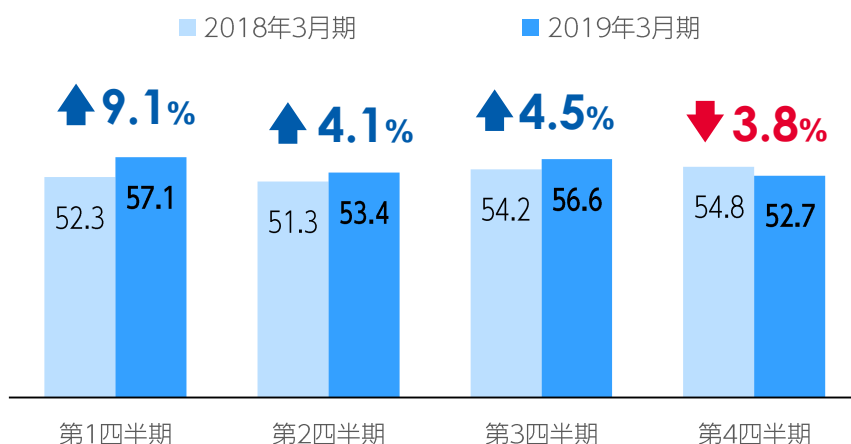
### 営業利益

[百万円]



### 一人当たりの平均月間売上高

[万円]



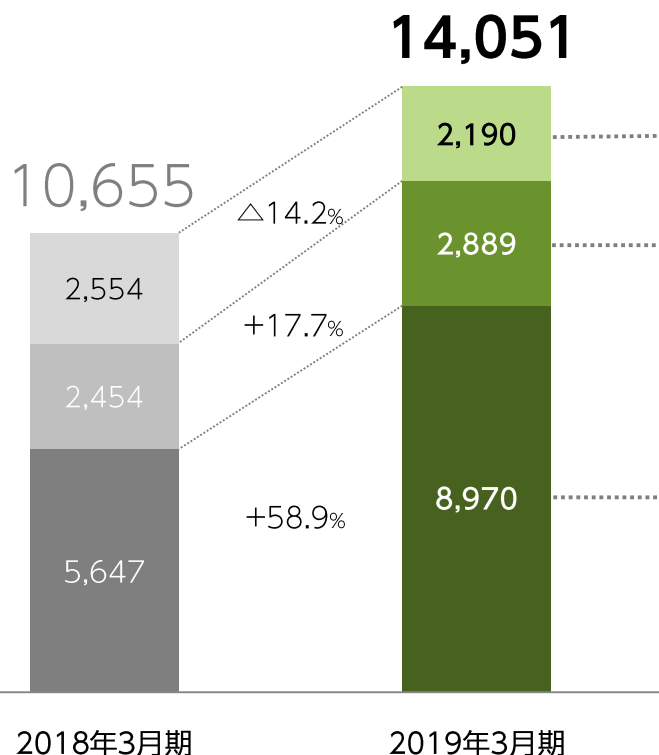
※四半期売上高を期中平均技術職社員数で除したのから1ヶ月の平均売上高を算出

## セグメント別業績 – エンジニアリング事業（分野別売上高）

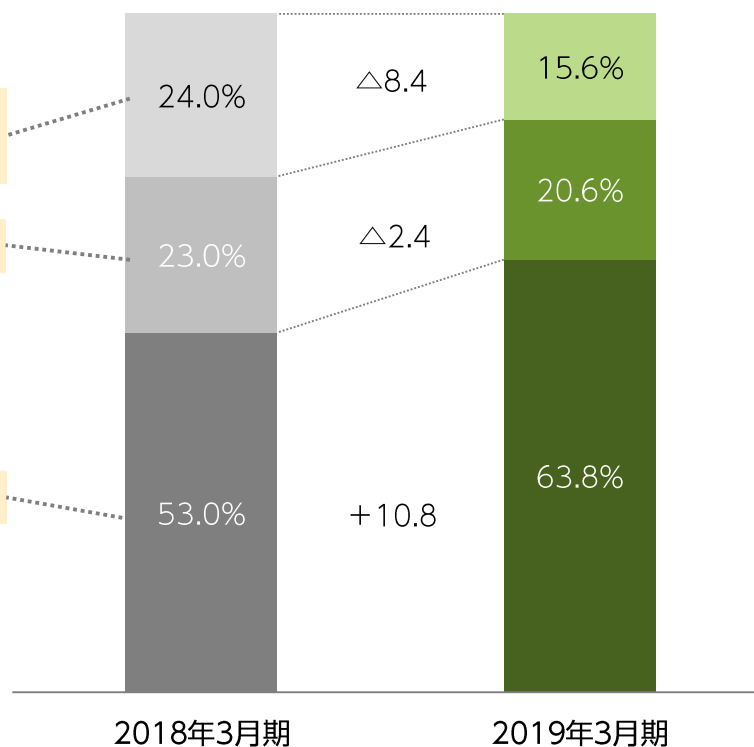
- 半導体関連に加え自動車関連の開拓も進み設計技術者分野が大幅に拡大
- 建設技術者分野では施工管理者を中心とした旺盛な人材ニーズを獲得

売上高

[百万円]



売上高構成比

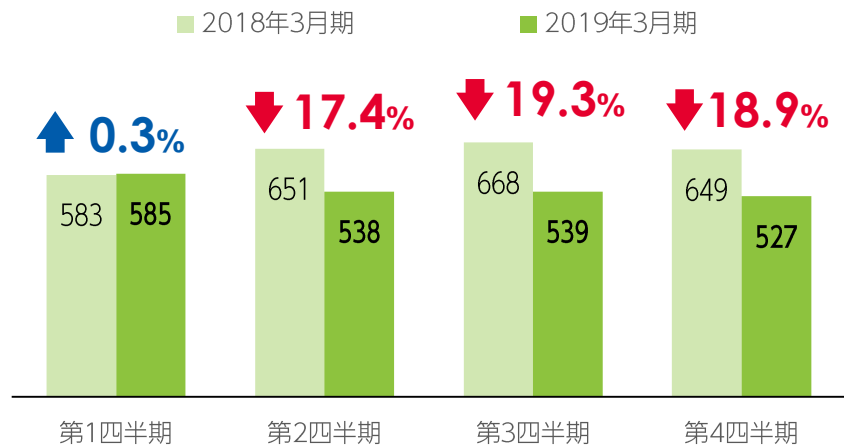


# 1. 2019年3月期 決算概要

## セグメント別業績 – エンジニアリング事業 (分野別売上高)

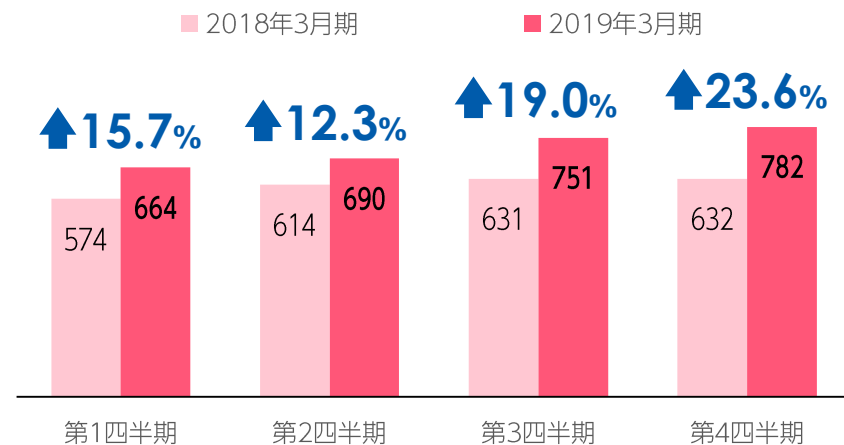
### ソフトウェア開発技術者分野

[百万円]



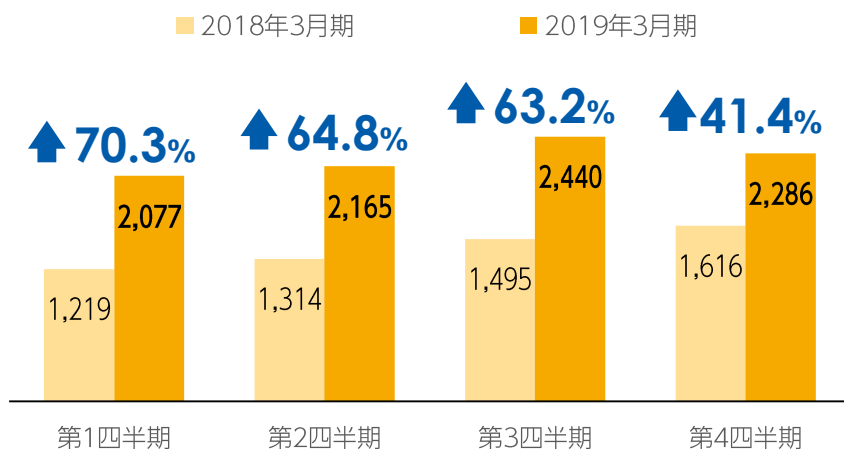
### 建設技術者分野

[百万円]



### 設計技術者分野

[百万円]



## 1. 2019年3月期 決算概要

# 当期の株主還元

過去最高業績の実現、創業25年の感謝等を含めて特別配当を実施  
株主の皆様からのご要望に応え、当期はすべて配当金にて還元

[百万円]

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
還元総額	609	1,060	2,499
配当総額	-	-	2,499
普通配当	-	-	1,490
特別配当	-	-	1,009
自己株式取得総額	609	1,060	0
総還元性向	30.0%	30%	50.3%
1株当配当金 (円)	-	-	61.93
普通配当	-	-	36.93
特別配当	-	-	25.00

## 2. 中期経営計画の修正

## 2. 中期経営計画の修正

# 中期経営計画

中期経営計画最終年度を2020年3月期に1年短縮し、  
次の10年に向けた成長戦略の策定に着手

[百万円]

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期			<ご参考> 当初計画の 最終年度目標 (2021年3月期)
				修正前	修正後	増減率	
売上高	57,588	81,751	101,103	124,000	<b>120,000</b>	△3.2%	145,000
営業利益	3,413	5,197	8,057	6,600	<b>10,000</b>	29.3%	8,200
EBITDA	3,652	5,713	8,677	8,200	<b>10,600</b>	51.2%	10,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,033	3,534	4,968	4,400	<b>6,200</b>	40.9%	5,500
技術職社員数 (名)	15,488	18,569	20,808	25,400	<b>25,100</b>	-	29,000

# 3. 2020年3月期 事業戦略

## 2020年3月期の事業戦略

事業環境の変化に対応する戦略を着実に実行に移す

中期経営計画を前倒しで達成し、未来へ向けた成長戦略を描いていく

### 事業領域の拡大と深化

自動車関連分野  
の拡大

エリア戦略  
本格始動

ソリューション  
営業強化

外国人技能実習生  
事業の拡大

環境変化に適応し成長を加速させる基盤を構築

半導体分野について2019年中は低迷が見込まれる



## 事業領域の拡大と深化

### 自動車関連分野の拡大

- ・ 期間工から派遣活用へのシフトが継続
- ・ 完成車から部品メーカーまで顧客を拡大
- ・ 自動車のエレクトロニクス化による新たな需要に対応

### ソリューション営業強化

- ・ グループの総合力をワンストップで提供し顧客課題を解決
- ・ 環境の変化に対応する受け皿から一歩進んだ関係の構築

### エリア戦略本格始動

- ・ 地元採用・地元配属によるドミナント戦略の推進
- ・ 10,000人／月を超える応募者データの有効活用

### 外国人技能実習生事業の拡大

- ・ ライフサポートや人事管理業務を一括して請け負うビジネスを加速
- ・ 外国人労働者と受入企業の橋渡しとスムーズな業務移行をサポート

## 2020年3月期連結業績予想

[百万円]

	2019年3月期		2020年3月期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
売上高	101,103	100.0%	120,000	100.0%	18,896	18.7%
営業利益	8,083	8.0%	10,000	8.3%	1,916	23.7%
経常利益	8,166	8.1%	9,900	21.2%	1,733	21.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,968	4.9%	6,200	24.8%	1,231	24.8%
一株あたり当期純利益 (円)	123.07	—	153.61	—	30.54	24.8%

# 4. コミットメント

## 4. コミットメント

# コミットメント

EBITDA成長率 30%以上 (中期経営計画の年平均成長率)

総還元性向 30%以上

グロスDEレシオ 1.0以下 (中期経営計画終了時)

### グロスDEレシオ

企業の資金源泉のうち、有利子負債が株主資本の何倍に当たるかを示す指標で、一般にこの数値が1以下だと財務内容が健全とされる。

### 総還元性向

純利益のうち株主に配分した額がどの程度の割合かを示す指標

式) 総還元性向 = (配当総額 + 自社株買い総額) ÷ 税引後当期純利益

# Appendix

参考資料

## 5. UTグループについて

# 会社概要

2019年5月1日現在

### 会社概要

商号	UTグループ株式会社
設立	2007年4月2日
資本金	6.8億円
上場証券取引所	東証JASDAQ（証券コード：2146）
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 若山 陽一
所在地	東京都品川区東五反田1丁目11番15号

### 拠点



### グループ会社

#### マニファクチャリング事業

**UTエイム株式会社**  
総合製造派遣・請負

**UTコミュニティ株式会社**  
総合製造派遣・請負

**UTグローバル株式会社**  
外国人技能実習生管理代行

#### ソリューション事業

**UTパベック株式会社**  
電池製造派遣・請負

**UTHP株式会社**  
総合製造派遣・請負

**FUJITSU UT株式会社**  
総合製造派遣・請負

#### エンジニアリング事業

**UTテクノロジー株式会社**  
設計開発・ITエンジニア派遣・受託

**UTコンストラクション株式会社**  
建設エンジニア派遣

**株式会社レイハウオリ**  
Webサイト制作

#### その他の事業

**UTエージェント株式会社**  
有料職業紹介事業

**UTライフサポート株式会社**  
社内福利厚生事業

**UTハートフル株式会社**  
特例子会社

## 5. UTグループについて

# 製造派遣分野のリーディングカンパニー

はたらく力で、イキイキをつくる。

創業以来、製造派遣業界では異例の無期雇用による人材派遣事業を展開。

はたらく人の立場に立ったさまざまな制度により

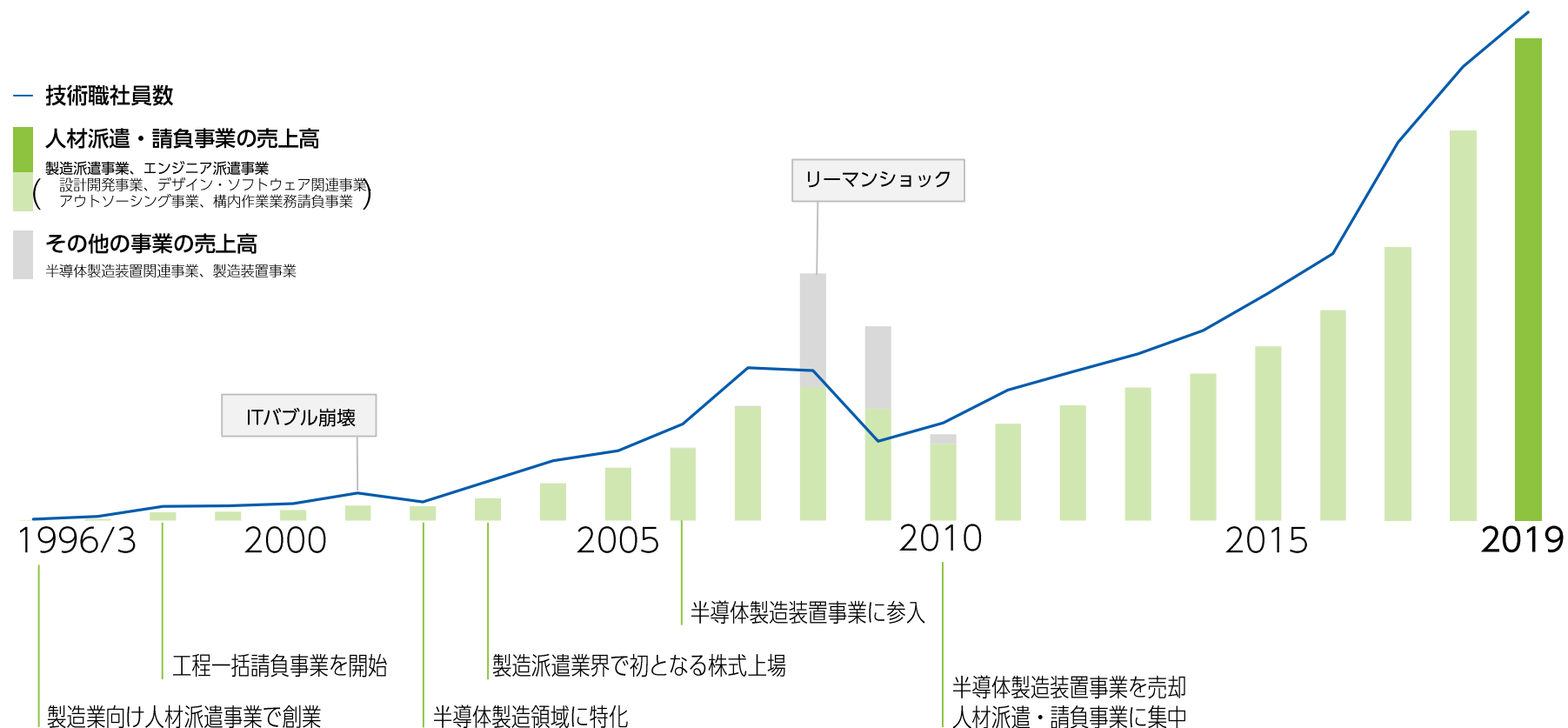
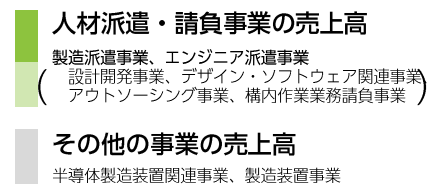
高い定着率を実現し、技術職社員数は過去最高を更新中。

2019年3月期

技術職社員数  
**20,583**名

連結売上高  
**1,011**億円

### — 技術職社員数





# UTグループのミッションと戦略

## ミッション

「はたらく力で、イキイキをつくる。」

UTグループは、全てのはたらく人に  
チャレンジする機会を与えます。

一人ひとりが高い目標を掲げ、  
果敢に挑戦することが、  
個々人の成長につながり、  
喜びになると考えています。

私たちは、そのイキイキとした姿が、  
あらゆるお客様の期待に応え、  
日本の未来に貢献する力だと信じています。

## 「イキイキをつくる」戦略

### 安心・安定した雇用

- 正社員雇用（無期雇用派遣）
- 全国規模での社宅
- 充実した福利厚生



### チーム派遣 キャリア形成支援

- 工程一括受託
- チームによる人材育成
- キャリアコンサルティング



### 教育・訓練と機会提供

- 役職員エントリー制度
- グループ内転職制度（One UT）
- エンジニア育成プログラム
- マネジメント研修

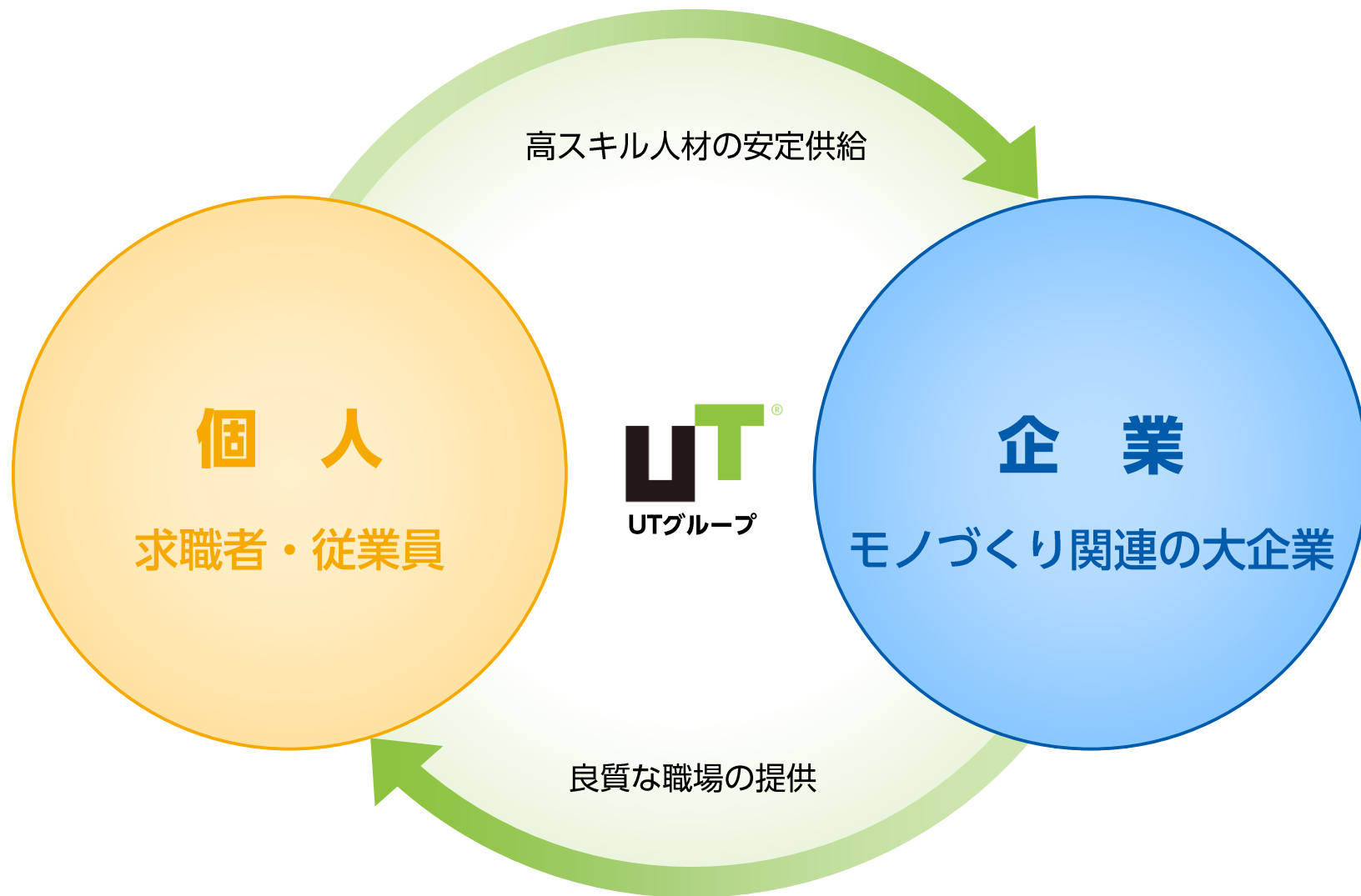


### 企業価値向上の 社員への成果配分

- 社員持株会制度



# ツインカスタマー戦略とキャリアプラットフォーム



## 製造派遣業界における事業環境

### 大手製造業の環境変化

改正労働者派遣法

有効求人倍率の上昇

厳格なコンプライアンス  
順守への関心の高まり

労働力需要の  
ボラティリティ増大

大人数需要の拡大



### UTグループの強み

創業からの無期雇用派遣

月間1,000名の採用力

厳格なコンプライアンス体制

常時7,000名以上の  
異動可能社員

業界トップクラスの  
技術職社員数

# 法改正と人手不足による環境変化

### 派遣会社に対する規制の強化と緩和

#### 2015年労働者派遣法改正

##### 規制強化

有期雇用派遣は期間制限あり  
キャリア形成支援の義務化  
労働者派遣事業は許可制に一本化

##### 規制緩和

無期雇用派遣は期間制限なし

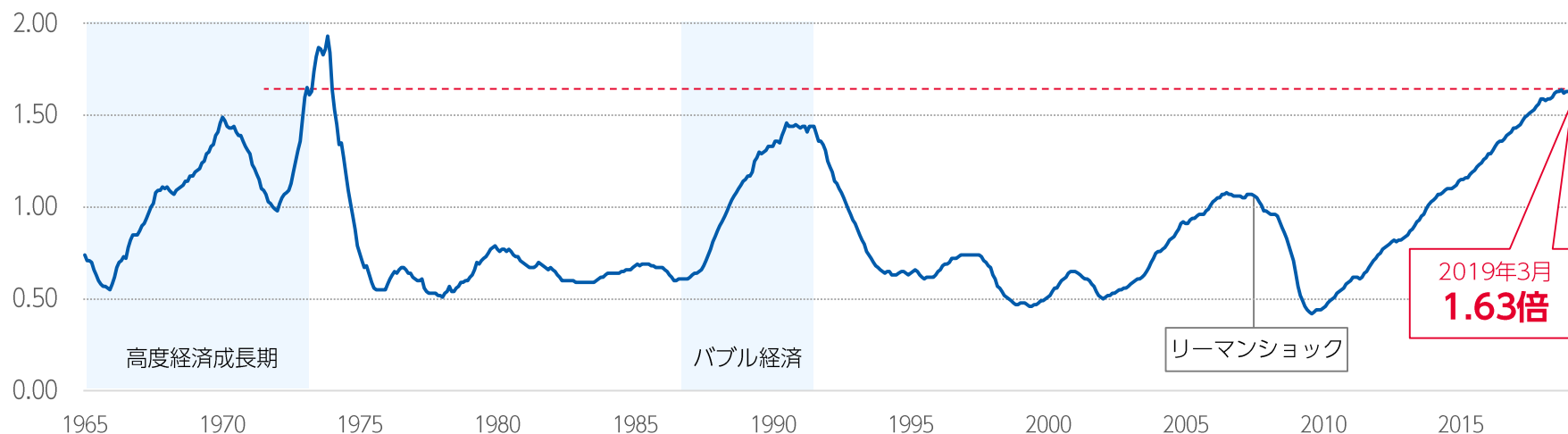
### 契約社員に関する規制の強化

#### 2013年労働契約法改正

##### 規制強化

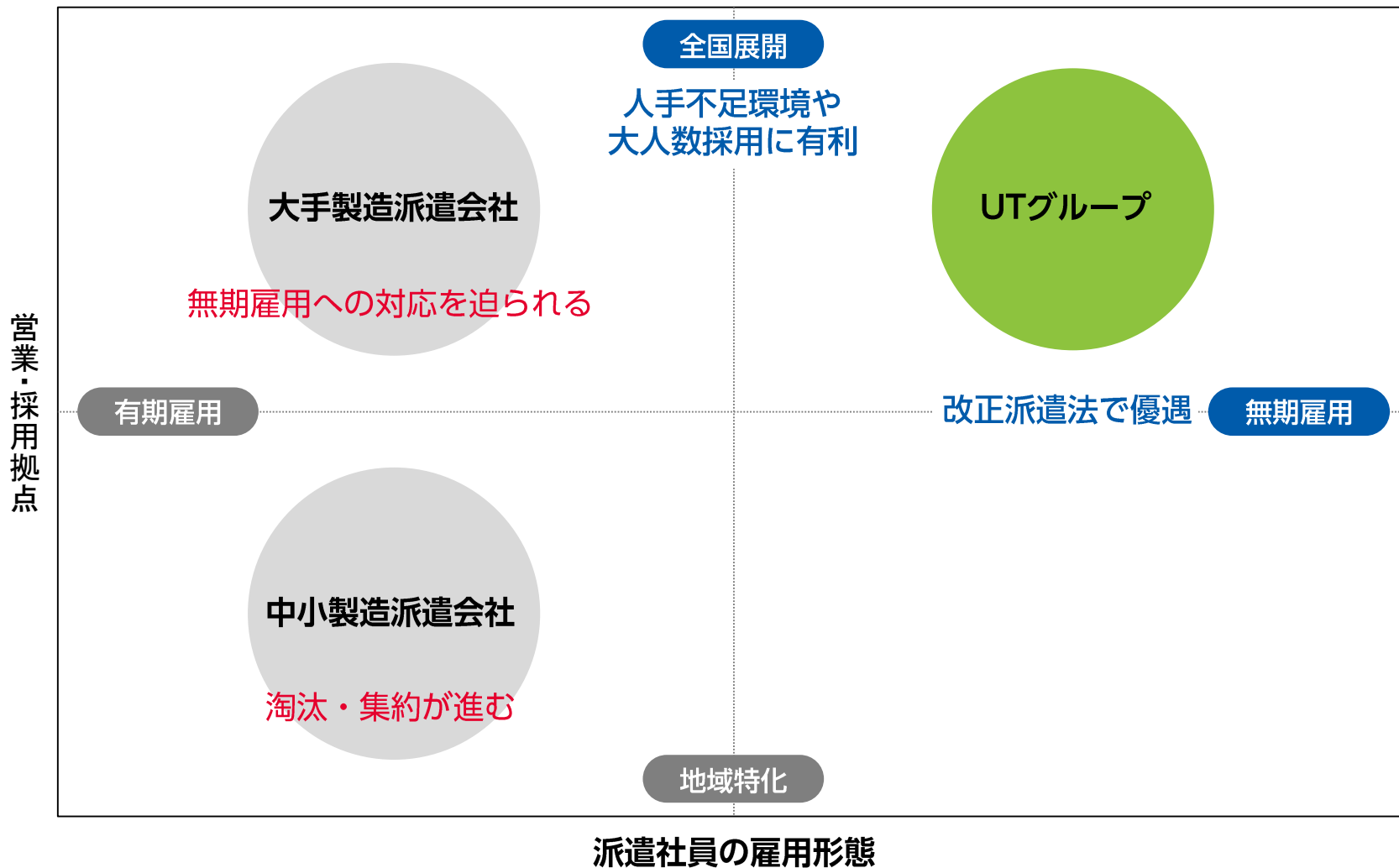
企業の固定費増加リスク

### 上昇が続く有効求人倍率



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

# 環境変化が独自戦略の追い風に



## 5. UTグループについて

# 株主還元方針

### 株主還元方針

当社グループは、『安定した財務基盤の確立と積極的な事業展開による高い成長を通じた持続的な企業価値の向上』を経営目標としており、中期経営計画において、グロスDEレシオ1.0以下（2021年3月期に実現）、EBITDA成長率30%以上（中期経営計画5カ年の平均成長率）をコミットメントとしております。

株主の皆様に対する利益還元も経営の重要課題と認識しており、**配当金および資本効率の向上に資する自己株式取得を通じて、総還元性向30%以上を基準**に、株価水準、事業環境等を総合的に判断して最適な株主還元を実施いたします。

### 総還元性向の推移

[千円]

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
当期純利益	1,497,496	2,033,027	3,534,596	4,968,446
配当総額	-	-	-	2,499,281
自己株式取得額	749,973	609,862	1,060,818	-
<b>総還元性向</b>	<b>50.1%</b>	<b>30.0%</b>	<b>30.0%</b>	<b>50.3%</b>

※2019年3月期は経営環境の変化等を勘案し特別配当を加えて全額を配当金による還元といたしました。

$$\text{総還元性向} = (\text{配当金} + \text{自己株式取得}) \div \text{当期純利益} \geq 30\%$$

配当金と自己株式取得は株価水準（PEGレシオ※）で判断

PEGレシオが1倍未満

自己株式取得による還元

PEGレシオが1倍以上～2倍未満

配当金と自己株式取得による還元

PEGレシオが2倍以上

配当金による還元

以上の基本方針をベースに総合的に判断し最適な株主還元を実施

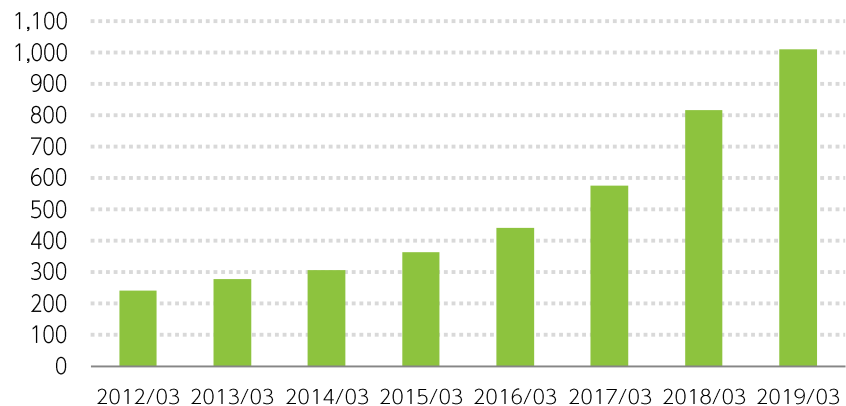
※ PEGレシオ = 予想PER ÷ 年間EPS成長率

## 5. UTグループについて

# 業績推移

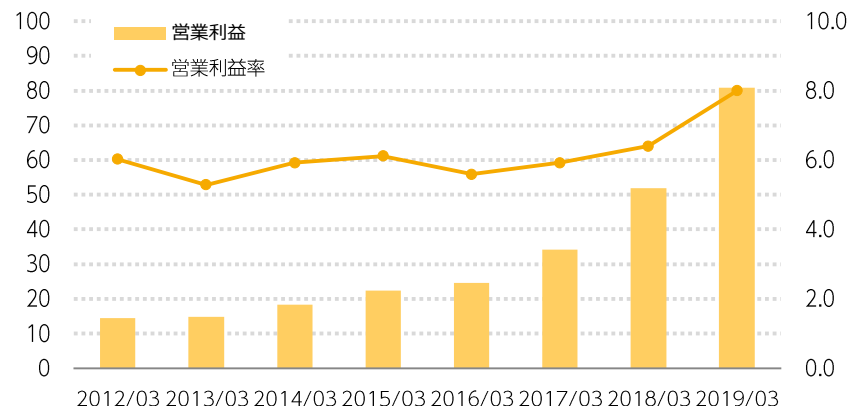
### 売上高

[億円]



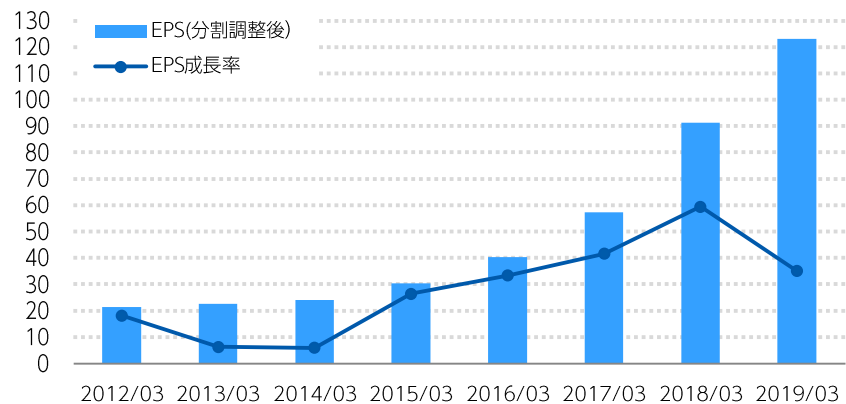
### 営業利益 (左軸) / 営業利益率 (右軸)

[億円・%]



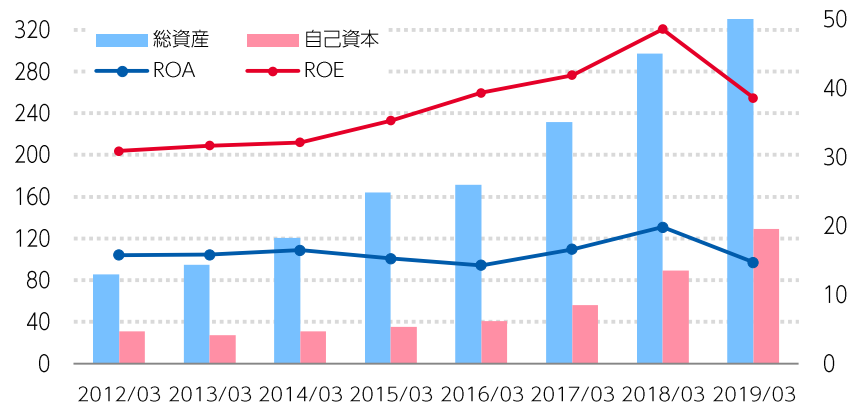
### EPS・EPS成長率

[円・%]



### 総資産・自己資本 (左軸) / ROA・ROE (右軸)

[億円・%]



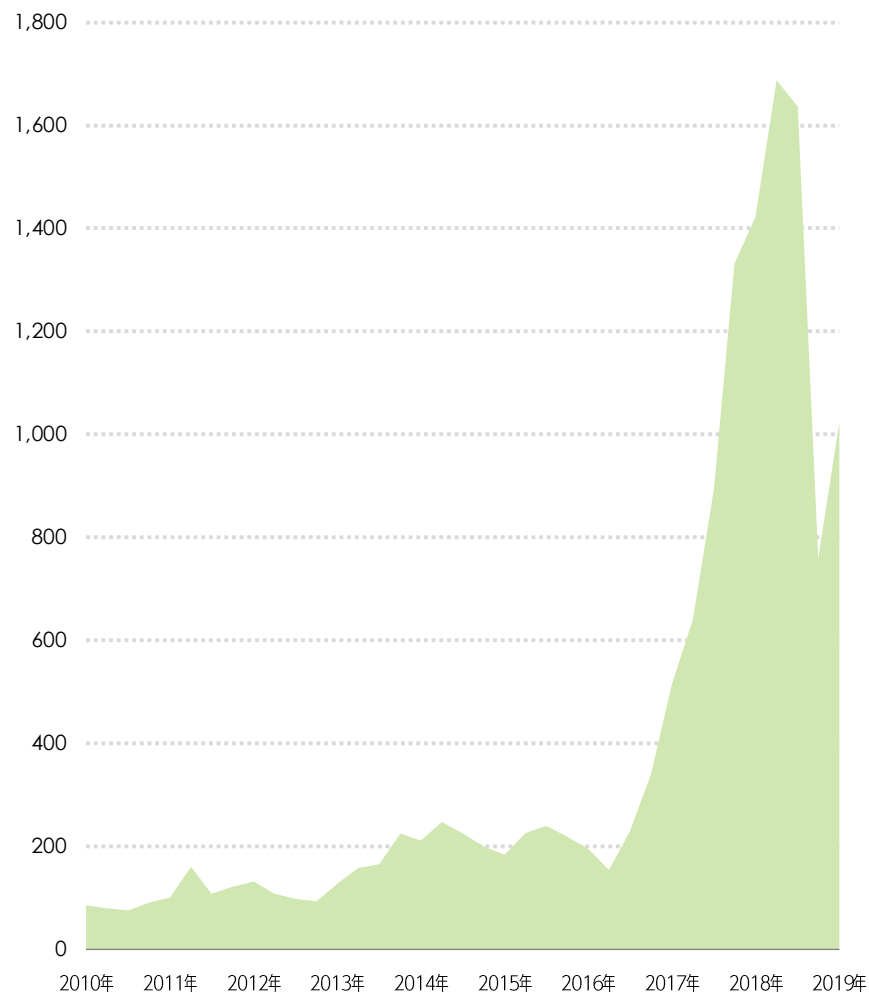
## 5. UTグループについて

# 株価の推移

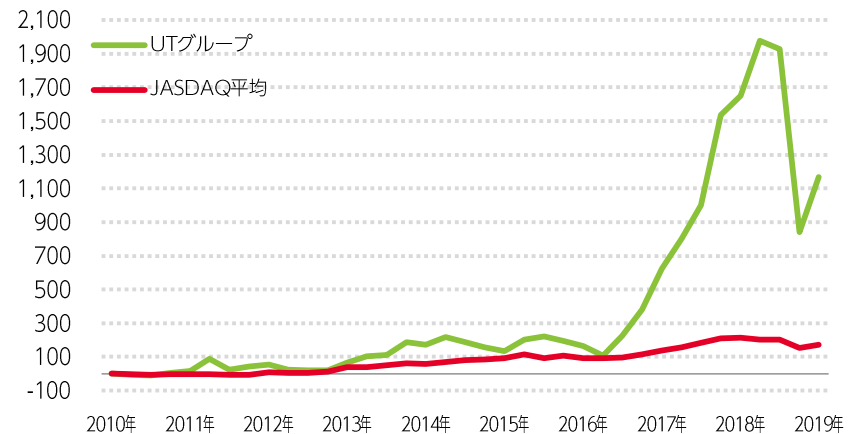
株価 (左軸) / 売買高 (右軸) [円/万株]



時価総額の推移 [億円]



株価の変動率 (2010年3月末比) [%]





# はたらく力で、イキイキをつくる。



Upward Together

## UTグループ株式会社

### 本資料に関する注意事項

本資料は、当社の事業計画の情報提供をするためのものです。本資料に記載された推測や業績予測等は、本資料作成時点における当社独自の判断に基づく計画値であります。また、今後の実際の業績などは、さまざまな要因によって予告なしに変更される場合や、異なる結果となる可能性があります。

### お問合せ先

UTグループ株式会社 社長室  
e-mail: [ir@ut-g.co.jp](mailto:ir@ut-g.co.jp)